

# 平成 29 年度 特別養護老人ホーム富士まかど

## 事業報告書

### 1. 事業運営の概況

その人らしさを大切にし、介護・看護の両面からきめ細やかに見守り、「その人が生きてきた人生」を知り、関わり、「安心した生活」が送れるよう一人ひとりに応じたケアに努めた。

平成 29 年度は 14 名の方に入居して頂き、16 名の方が退居となった。死亡による退居が 9 名、長期入院による退居が 6 名、転院による退居が 1 名であり、2 名の方は施設で看取らせて頂いた。

1 日の平均利用者数は 72.5 人、前年度対比 98.8%で推移した。職員体制が整わず、新規利用者の受入が難航した事から、年間稼働率は 90.6%となった。

### 2. 事業計画実施状況

#### (1) ユニットケアの充実と追及

##### ① 介護重度化への対応

平均介護度は目標の 3.5 には届かなかったが、3.2 から 3.4 になった。認知症・喀痰吸引などの内部研修を定期的に行い、きめ細やかな対応ができるように努めた。

##### ② 医療ニーズの対応

平成 29 年度の経管栄養の利用者様は 4 名であった。今年度は介護職員が喀痰吸引を行う事がなかったが、2 ユニットに 1 台吸引器を常設し、必要時に備えた。

##### ③ 終末期を支える

ユニット型施設の特徴である個室を活かし、より丁寧な個別ケアの提供に努め、ご家族も含め尊厳を尊重したターミナルケアを 2 名実施した。

##### ④ 稼働率 95%から 100%の維持

平成 29 年度の年間稼働率は 90.6%であった。職員体制が整わず、新規入居が遅れてしまう事が多く、稼働率は減少傾向となってしまった。

(2) 「目配り」「気配り」を心掛け、防げる事故をゼロにする

① 身体拘束廃止・安全対策委員会

ヒヤリハット事例の検証と予防策について委員会で検討し、事故防止に努めた。事故報告においては、発生原因を明確にし、担当ユニット、関係職員、委員会にて検証、再発防止策を検討することにより、より重大な事故の予防に努めた。

平成 29 年度の事故件数は 70 件、内 7 件は病院受診の必要があり、市に報告した。(平成 28 年度事故件数 90 件、内 4 件は市に報告)

② リスクマネジメントの強化

サービス担当者会議を通じ、利用者様のリスク状況を他職種で共通理解を深め、リスク排除に向けて努めた。

また、事故発生防止体制の対応マニュアルや緊急時の対応マニュアルを見直し、各職員に周知徹底を図った。

(3) 地域公益活動の推進

地元自治会等との連携強化を図るため、間門地区の防災組織と話し合いを行い、災害発生時の対応方法・協力体制について、現状の取組方法を確認した。

(4) 積極的な専門委員会等の活動

① 専門委員会活動

- ・ 感染症対策委員会(毎月 第 2 金曜日)

出席者:担当看護職員、介護職員(各ユニット 1 名)、管理栄養士  
感染予防に対する知識を深め、各自が意識して実践できる体制づくりを年間目標とし、勉強会を実施した。利用者様・職員では、ノロウイルス・インフルエンザに罹患した者はいなかった。

- ・ 褥瘡予防委員会(偶数月 第 4 木曜日)

出席者:担当看護職員、介護職員(各ユニット 1 名)、管理栄養士  
褥瘡ゼロを年間目標とし、褥瘡対応等の勉強会を実施した。軽度の褥瘡発症の方には、早期対応に努め短期間にて完治することができた。  
毎月、ブレーデン(皮膚のトラブル)の記入を行い、予防に努めた。

- ・ 栄養管理委員会(奇数月 第 3 木曜日)

出席者:管理栄養士、介護職員(各ユニット 1 名)  
職員の栄養等に関する知識の向上に努めた。また、利用者様に食事を楽しんで頂く為、スイカ割り、お好みチラシ寿司、ケーキバイキングの企画を予定通り実施した。

- ・ 身体拘束廃止・安全対策委員会(毎月 第3金曜日)  
 出席者:施設長、生活相談員、介護支援専門員、介護職員(各ユニット1名)  
 同一事故の防止を年間目標としたため、再度マニュアルの見直しを実施。今年度の事故件数 70 件、そのうち 7 件が病院受診対応となった。委員会にて危険予知訓練(KYT)を行い、その内容を基に職員全体を対象とした内部研修を行った。
- ・ 防災対策委員会(毎月 第 1 火曜日)  
 出席者:防火管理者、介護職員(協力ユニット 1 名)、管理栄養士  
 職員個々の防災意識を高め緊急時に対応できる施設を目指した。AED 訓練、放水訓練を予定通り実施する事ができた。  
 毎月の訓練内容は別紙参照
- ・ 優先入所検討委員会(6/1、9/14、12/14、3/1)  
 出席者:施設長、生活相談員、介護支援専門員、看護師、代表介護職員、外部委員(2名)  
 適切に入所検討委員会の開催し、制度改正への対応や入所に係る順位の決定を行った。
- ・ 研修委員会(4月、9月、2月)  
 出席者:事務主任、生活相談員、代表介護職員(2名)  
 必要な知識を取得し、内部研修への情報提供に努めた。
- ・ 口腔内の喀痰吸引等安全対策委員会(4/17、7/10、10/9、1/8)  
 出席者:施設長、嘱託医、生活相談員、介護支援専門員、看護師、代表介護職員  
 口腔内の喀痰吸引等、安全知識・安全技術を深めることを年間目標とし、勉強会の実施や登録者へのテストを実施した。

## ② 各種会議等

- ・ 施設運営会議(毎月)  
 出席者:施設長、生活相談員、ショートステイ相談員、介護支援専門員、事務主任、管理栄養士、看護主任、各ユニットリーダー
- ・ サービス担当者会議(毎週水曜日)  
 出席者:介護支援専門員、生活相談員、看護職員代表、管理栄養士、担当介護職員等
- ・ リーダーミーティング(毎月)  
 出席者:施設長、事務主任、生活相談員、ショートステイ相談員、介護支援専門員、管理栄養士、看護職員代表、各ユニットリーダー
- ・ ユニットミーティング(各ユニット毎月)  
 出席者:ユニット内介護職員

(5) 職員の資質の向上

職員の資格取得意欲の向上を目的に、多様な研修に積極的に参加させ、見聞を広めると共に、モチベーションの維持に繋げられる様に努めた。

(6) 地域、各種関係団体との連携強化

- ・ 地区伝統行事等への参加

吉永北地区のお祭りや文化祭等の地域行事に参加し、各種団体との交流を深めることで、拓かれた施設を目指した。

【地域行事等への出席状況】

開催日	行事名	出席者
平成 29 年 4 月 7 日	吉永第二小入学式	施設長
平成 29 年 5 月 27 日	吉永第二小学校運動会	施設長・相談員 利用者 6 名
平成 29 年 6 月 10 日	風の宮まつり	施設長
平成 29 年 9 月 10 日	吉永北地区敬老祝賀会	施設長
平成 29 年 10 月 1 日	間門ふれあい秋祭り	施設長
平成 29 年 10 月 8 日	鶉無ヶ淵ふれあい秋祭り	相談員
平成 29 年 10 月 29 日	吉永北地区文化祭	施設長
平成 30 年 3 月 1 日	県立富士東高等学校卒業式	施設長
平成 30 年 3 月 11 日	吉永北地区菜の花の里まつり	施設長
平成 30 年 3 月 20 日	市立吉永第二小学校卒業式	施設長

(7) 入居者及び職員の健康管理について

① 健康管理

- ・ 週一度の回診の他、急変時等は主治医の指示を仰ぎ対応した。歯科や眼科についても定期的な往診依頼をした。
- ・ 利用者様の血圧・脈拍・体温を記録することで、個々の平均体温や血圧を把握し、身体リズムを掴み体調の変化を迅速に捉え対応した。
- ・ 体重測定は、毎月 1 回ユニット毎に測定した。
- ・ 全利用者様及び職員に対し、健康診断を 7 月に実施。また、夜勤業務従事者においては、3 月に 2 回目の健康診断を実施した。
- ・ 全利用者様及び全職員を対象にインフルエンザの予防接種を実施。また、全利用者様を対象とした肺炎球菌ワクチンの接種を推奨した。その他、手洗い・うがいの徹底、感染対策委員会等と連携を取り、感染予防研修を開催し感染症の蔓延防止に努めた結果、感染者は出なかった。
- ・ 職員のメンタルヘルスに対応するための仕組みづくりに努めた。

【行事開催状況】

実施日	行 事
平成 29 年 4 月 7 日	いちご狩り(壇・宮脇)
平成 29 年 4 月 15 日	お花見外出(壇・宮脇)
平成 28 年 5 月 21 日	施設全体 運動会
平成 29 年 7 月 18 日 平成 29 年 8 月 6 日	スイカ割り
平成 29 年 8 月 2 日	流しそうめん(2F)
平成 29 年 9 月 3 日	敬老祝賀会
平成 29 年 9 月 8 日	サファリパークに外出(ショートステイ)
平成 29 年 10 月 12 日	富士市福祉展見学
平成 29 年 12 月	年賀状づくり
平成 29 年 12 月	クリスマス会(各ユニット)
平成 30 年 3 月 30 日	お花見外出(壇・宮脇)

※毎週日曜日は「Cafe 亀窪」と題し、2F フロアーにて喫茶を開店。

【クラブ活動開催状況】

4 月から 10 月(毎月 1 回) 華道クラブを開催

【防災訓練実施状況】

開催月	内 容	備 考
平成 29 年 4 月 4 日	防災設備確認	施設内 全箇所
平成 29 年 5 月 15 日	非常呼集訓練	夜間、地震想定
平成 29 年 6 月 21 日 平成 29 年 6 月 28 日	AED 講習	講師:ALSOK
平成 29 年 7 月 4 日	避難誘導・通報訓練	2F ユニット
平成 29 年 8 月 1 日	避難誘導・通報訓練	3F ユニット
平成 29 年 9 月 5 日	総合防災訓練	全ユニット
平成 29 年 10 月 3 日	防災設備使用方法・放水訓練	講師:伊豆防災(株)
平成 29 年 11 月 7 日	地震を想定とした避難誘導訓練	2F ユニット
平成 29 年 12 月 5 日	地震を想定とした避難誘導訓練	3F ユニット
平成 30 年 1 月 9 日	情報伝達訓練	緊急連絡網
平成 30 年 2 月 6 日	炊出し訓練	非常食調理
平成 30 年 3 月 6 日	平成 30 年度事業計画について	防災委員

※防災訓練、防災委員会は毎月第 1 火曜日に実施。

【外部研修参加状況】

	開催日	研 修 名	職 種	主 催
1	H29.4.25	H29 年度 アンガーマネジメントを学ぶ講座	ショート相談員 1名	静岡県社会福祉人材センター
2	H29.5～	社会福祉施設長資格認定講習(前年度より継続)	施設長 1名	中央福祉学院
3	H29.5.27	(株)フード・デリ メディケアフェーズショー	管理栄養士 1名	(株)フード・デリ
4	H29.6.1	健康づくりデイサービス・生きがいデイサービス従事者研修	介護職 2名	富士市高齢者介護支援課
5	H29.6.6	富士市介護保険事業連絡会総会・研修会	相談員 1名	富士市介護保険者連絡協議会
6	H29.6.13	H29 年度衛生・栄養管理講習会	管理栄養士 1名	静岡県富士保健所 医療健康課
7	H29.10.13	介護保険サービス提供事業者説明会	施設ケアマネ 1名 ショート相談員 1名	静岡県健康福祉部福祉指導課
8	H29.11.21	メンタルヘルス担当者講習会	看護職員 2名	富士労働基準監督署
9	H29.11.22	安全運転管理者講習	介護職員 1名	静岡県公安委員会
10	H29.12.11	H29 年度施設におけるアセスメント力向上研修	施設ケアマネ 1名	富士市高齢者介護支援課
11	H29.12.14	高齢者・障害者施設従事者向け施設従事者による虐待防止研修会	介護職員 2名	富士市高齢者介護支援課 富士市生涯福祉課
12	H30.1.15	H29 年度調理技術研修会	管理栄養士 1名	静岡県給食協会富士支部
13	H30.1.30	H29 年度給食に関する辞令研究発表会	管理栄養士 1名	静岡県給食協会
14	H30.3.7	H29 年度病院・高齢者給食施設栄養士研修会	管理栄養士 1名	静岡県富士保健所 医療健康課

【内部研修開催状況】

	研修日	研修名	講師	対象職員	参加人数
1	H29.4.1	新人研修(感染対策・ユニットケア・介護保険制度)	施設長 他	新人職員	5
2	H29.4.5	虐待防止	生活相談員	全職員	9
3	H30.1.17	虐待防止 養介護施設従事者等による 高齢者虐待防止	研修受講者(介護職員)	全職員	8
4	H30.1.24		研修受講者(介護職員)	全職員	4
5	H29.4.19		生活相談員	全職員	8
6	H29.4.26	誤薬防止研修	介護職員(向山)	全職員	8
7	H29.8.17	誤薬防止研修 食事	介護職員(梅木平)	全職員	6
8	H29.5.17		管理栄養士	全職員	10
9	H29.5.24	夜間対応	看護主任	全職員	12
10	H29.9.20	夜間対応 防災訓練(情報伝達)	介護職員(峯山)・栄養士	全職員	5
11	H29.9.27		介護職員(北向・峯山)	全職員	6
12	H29.5.25		防災対策委員会	全職員	55
13	H29.7.26	防災	生活相談員	全職員	8
14	H29.6.21	AED 講習	ALSOK 宇井氏	全職員	12
15	H29.6.28	AED 講習 事故対応(危険予知訓練)	ALSOK 宇井氏 介護職員(城)	全職員	7
16	H29.10.25				3
17	H29.10.18	事故対応(危険予知訓練) 感染症	生活相談員	全職員	2
18	H29.10.25		生活相談員 感染対策委員		2
19	H29.11.29		9		
20	H29.12.20	認知症	施設ケアマネ	全職員	5
21	H30.1.17	虐待防止	介護職員(峯山)	全職員	8
22	H30.1.24	虐待防止	介護職員(ショート)	全職員	3
23	H30.2.21	法令遵守・プライバシー保護	生活相談員	全職員	4
24	随 時	嘔吐物処理手技	感染対策委員会	全職員	51
25	随 時	喀痰吸引(テスト)	喀痰吸引委員会委員	特定行為業務登録者	21
26	随 時	喀痰吸引(実技)	看護主任	特定行為業務登録者	21